

環境部

住んで良かったと思われる若槻の環境のために

環境部長 長田 進

2年続きのコロナ禍のなか、事業を中止することなく実施出来た事、関係者の皆様の御協力に感謝申し上げます。環境部では若槻まちづくり計画に基づき、3点の基本計画を実施しました。

1) 生活環境、河川及び溜池等の保全、環境改善活動

生ゴミ堆肥化は生ごみの削減になり、ごみを捨てる時ごみ袋に水がたまらず好評でした。

また河川水質調査事業、外来植物駆除は各区で実施し、皆様の御協力に感謝申し上げます。

2) 生活環境や自然環境に関する学習会、観察会

自然遺産ガイドマップ更新のためモデルコースの調査を実施しました。キノコのコマ打ちは参加者を制限するほど盛況でした。自然観察会バードウォッチングも参加者が多く好評でした。

3) ホタルの里づくり

ホタルが住む環境は悪くなっているのか昨年より目撃数が減っていますが、ホタル保護保全の学習会を開催し、土京川河川敷の整備を実施、ホタルウイーク(6月25日～7月3日)は鑑賞者1,600名、ホタル目撃数580匹、梅雨時で雨の日もありましたが、関心の高さが感じられました。コロナ感染者もなく関係者の皆様の御協力に感謝申し上げます。



生ごみ堆肥講座

福祉健康部

コロナ禍に振り回された1年を振り返って

福祉健康部長 横山 博道

コロナ感染状況を見極めつつ、過度に自粛することなく、年間事業計画の遂行に向けて1年間取り組んできましたが、今年度も新型コロナに振り回された1年となりました。

1. 福祉推進員・健康委員(地区によっては民生委員)が地区単位で取り組んだ事業

①サロン事業(まちの縁側いこいの場)

感染予防を徹底して5地区で「サロン活動」が実施されました。お茶飲まないサロンとして、「映画観賞会」「マジック・紙芝居」「津軽三味線とひととき」など、アイデアを出し合い、住民が安心して集まれる憩いの場づくり事業を実施しました。

②介護予防・日常生活支援総合事業

「はつらつ体操」が通年7地区で実施され、多い地区では年間33回開催されました。

③健康講座

コロナ禍のため5地区での開催に止まりましたが、はつらつ体操や落語会とセットにしたりするなど地区毎に工夫を凝らした取り組みが行われました。

2. 福祉健康部(福祉部会と健康部会の単独事業又は共催事業)が主催した事業

①介護の集い

「認知症の人への理解と対応について」をテーマに宅老所「手と手」の方を講師にお招きし講演会を開催しました。

②健康食講座

吉田保健センターから管理栄養士の先生をお招きして「若槻地区の健康課題と食生活」をテーマに講座を開催しました。

③若槻地区福祉大会

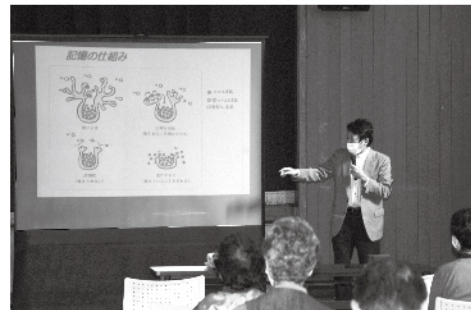
各地区の福祉活動の発表会という位置づけで毎年2月に開催しておりますが、3年ぶりに開催することができました。各地区の活動内容を共有することにより、次年度の活動につながることを期待して開催しております。

④はつらつ体操情報交換会、ながの健やかプラン2I、男性の料理教室

開催に向け準備を進めましたが、コロナ禍第7波(感染レベル5)のため中止としました。

3. その他、地域たすけあい事業(家事援助サービス、福祉移送サービス)等

公共交通機関を利用できない住民のため、福祉自動車による病院等の送迎、家事援助サービスを実施しましたが、感染レベル5の際は一時中断となりました。このほか、「お母さんのなんでもトーク」「ぴっかり教室」「なんちゃって男子大楽」「若槻こども文庫おはなし会」「花があふれ虫の声が聞こえる町事業」等を実施しました。



介護の集い